



うしさん大きいね～！

(今金町畜産共進会を見学する認定子ども園の園児たち)

第51回今金町畜産共進会

7月23日、第51回目を迎える今金町畜産共進会が開催されました。

当日は乳用牛16頭、黒毛和種牛40頭の合計56頭が出陳され、生産農家の日頃の研鑽努力による改良成果が披露されました。

審査は厳格公正に行われ、各部のグラントチャンピオン・リザーブチャンピオン・最高位・準最高位が選ばれました。

また第61回道南畜産共進会は、肉用牛の部が7月31日、乳用牛の部が8月19日にそれぞれ八雲町にて開催されます。今金勢からの出陳牛の活躍に期待しましょう！



▲ 乳用牛経産 グランドチャンピオン
インマヌエル クイーンズ フィーバー



▲ 乳用牛未経産 グランドチャンピオン
クリサンス エコー タレント



▲ 黒毛和種経産 最高位 ちえ



▲ 黒毛和種未経産 最高位 さくら

賞 名		名 号	出陳者
乳用牛未経産	グラントチャンピオン	クリサンス エコー タレント	菊地章太
	リザーブチャンピオン	クリサンス アツトウツド シエラ	菊地章太
乳用牛経産	グラントチャンピオン	インマヌエル クイーンズ フィーバー	山崎良介
	リザーブチャンピオン	オツタ ティーエイチ アイオーン	幅口志保
黒毛和種未経産	最高位	さくら	村瀬一人
	準最高位	ゆりほ	諸戸邦吉
黒毛和種経産	最高位	ちえ	田中一也
	準最高位	みや	境田哲哉

国営事業今金北地区 専門技術者現地検討会



7月22日、国営緊急農地再編整備事業今金北地区の事業実施に向けて、専門技術者による現地検討会が行われました。

すでに南地区においては整備後のほ場で作付けが始まっていますが、本事業は区画整理・透排水性の改善等を通じて、今金農業が将来に向けて飛躍する為の重要な取組であることから、円滑な事業実施が期待されます。

『今金男しやく』収穫・出荷始まる！



▲食用早掘りポテトデガー「アーリーデガー」で収穫の様子

7月下旬、いよいよ「今金男しやく」の収穫・出荷が始まりました。上記の写真は、上地区の鷲野幸代さんの収穫の様子です。促成栽培の早出し馬鈴薯は、炎天下での収穫作業になることが大きな負担となっていました。専用機械のアーリーデガー導入により、労働負担の軽減と高品質の維持の両立が可能となりました。町内において導入事例が増加しています。

無人ヘリコプターで水稻の効率的防除を



7月16日今金町無人ヘリコプター共同利用組合が防除の開始に先立ち飛行練習会を行いました。同組合は現在20名の構成員で運営され、その内オペレーターは8名の在籍となっています。

7月中旬から8月上旬にかけて防除が行われますが、昨年は延べ約437haが無人ヘリでの防除実施となりました。今後の大区画化に対応する手段としても、より重要性が高まります。

今金町稲作部会 カメムシ発生を予察



▲ほ場に設置されたカメムシトラップ

本年も昨年に引き続き、カメムシトラップによる発生予察調査が今金町稲作部会の取組として行われています。近年カメムシの被害が拡大していますが、予察情報に基づき適切な防除を行う事により、被害を最小限に止める事で米集出荷施設の効率稼働にもつながり全体のメリットが向上します。臨機的防除の実施により安全・安心な米の生産を行っていきましょう。

平成27年度JA道南・後志・日胆・石狩地区

農協専務会 海外視察研修

7月3～10日にかけて、農協専務会の海外視察研修が行われました。当JAからは内ヶ島道良専務理事が参加し、連日オーストラリアの農業関係機関を訪ね研修を行いました。訪問した数ある視察先から抜粋して概要をお伝えします。



日本人が営む和牛牧場で記念撮影
(写真後列右から2番目 内ヶ島専務)

◆メルボルン：AWB Research centre◆

AWBは「Australia Wheat Board」の略で重要な農産物である小麦の生産者を支援し、小麦の生産・品質・在庫及び輸出を管理する為に1914年にオーストラリア政府が法制化して立ち上げた組織が始まりです。

1997年7月の法改正に伴い、政府系の組織化から生産者（農家）が主体の株主となり、株式会社化として新たな民間企業として出発しました。しかし、2010年10月にカナダの肥料会社であるアグリウムに買収され、1ヶ月後の11月には米国資本の穀物メジャーであるカーギル社に売却されました。



◆シドニー：MLA（食肉畜産オーストラリア）◆

MLAはオーストラリアの牛や羊などの畜産業（食肉）に対してマーケティング・調査・研究している公共機関です。

調査したデータをもとに政府と掛け合うなどして、47,500件以上の生産者（メンバー）に対して安定的な生活を支援したり、必要な情報提供を行っているます。

各市場・販売チャンネルに合わせたマーケティングプログラムや、輸出入業の分野をはじめ各国小売・外食産業や一般消費者にそれぞれ焦点を当てオーストラリア産牛肉・羊肉・山羊肉のマーケットシェアおよび販売量の拡大を図っています。





今回のテーマは 牛の熱中症に注意しましょう！

ここ最近暑い日が続いています。梅雨もなく台風も少ないというイメージの北海道ですが、温暖化の影響もあるのでしょうか、今年は特にジメジメと暑く、やる気でない天候の日が多いように感じます。人も夏バテしてしまう湿度と温度ですが、牛にとってはさらに大きなストレスとなるのです。

寒さには強いですが・・・

牛は、胃が四つの部位にわかれた動物で、採食した餌を食道から四つのうち一番目の第一胃に運びます。この第一胃の容積は成牛では 150 ～ 250L という膨大なものです。この大きな第一胃内で発酵分解する過程で多量の熱を産生します。そのため多少の寒冷には強いのですが、暑熱に対しては非常に弱いのです。

熱中症の要因は・・・

- ①炎天下での放牧中に直射日光を避けるための木陰や屋根などがない
- ②十分な飲水ができない
- ③多湿や締め切って換気不十分な牛舎

こういった状況下におかれた牛は熱中症にかかりやすい傾向にあります。人の熱中症では①や②と同様の要因により起こることが多いと思います。しかし、牛では③のような飼育環境や気候が問題となることも多いのです。

熱中症の症状は・・・

症状としては、開口呼吸、露舌、呼吸速迫、流涎、発熱などの症状を示します。

熱中症には牛体への浴水（とくに頭部）が効果的です。また、冷水を直腸内に注入する方法もあります。同時に涼しい場所に移動し、扇風機等で送風を行います。また、熱中症の時には脱水状態に陥っています。これを改善するためには、電解液を大量に口から飲ませる必要があります。さらに重症の場合は、直接血管へ補液をしないとはいけません。

人は体の異変に自ら気づき行動することができるので、比較的早く対処が可能です。一方、牛等の家畜は、人が異変を発見したときにはすでに重症ということも多いので迅速な対応が必要となります。

熱中症にならない為に！

まずは、以下の点に注意して、熱中症になるリスクを少しでも減らすことが大切です。

- ①風を当てる・・・換気、扇風機、細霧システム、ダクトファン
- ②直射日光の影響に気を付ける・・・炎天下の放牧は避ける
- ③遮光や散水により舎内温度を下げる
- ④飲み水に注意する・・・きれいな水を自由に飲める状態にしておく
- ⑤舎内環境を改善する・・・糞尿により汚れた環境（多湿状態）にならないように心掛ける

高温多湿下での作業では人も熱中症の危険がつきまとうので、適度の休息とこまめな水分補給を行い、かつ牛の状態を十分観察し異変に早く気付くことができるかが重要です。

文：道南NOSA I 田淵完昌



※このコーナーでは、酪農家の皆さんからの疑問・質問を大募集中です！
取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、ぜひ農業経営課までご連絡下さい。

檜山農業改良普及センター檜山北部支所より

営農情報8月号

()は、7月15日作況調査の平年値との遅速日数

	今後の農作物管理		今後の農作物管理
水稲	7/15現在 水稲(遅3日) 6月下旬、7月上旬の低温で生育が遅れています。苗質や品種により出穂・開花期の差が大きくなるものと思われます。適切な水管理で稔実向上と登熟の促進に全力を！ ・病害虫防除の徹底！ ＜いもち病＞ 7月中旬にプラスタム情報：●感染好適条件に達しています。早期発見と防除を徹底しましょう。基幹防除は①出穂期と②その7～10日後、発生予察情報にもご留意下さい。 ＜カメムシ類＞ 乳熟期(出穂以降7～10日後)を中心に防除を徹底。(残効の長い薬剤使用で、1回防除可能:H27指導参考)その後は予察に基づく追加防除をご検討下さい。 (気温が高く経過した場合は、予察頭数以上の被害となるので注意！) ・出穂・開花時は水が必要！ 出穂・開花時は、稲の一生でもっとも水を必要とする時期です。3cm程度の浅水で湛水状態を保ちましょう。 ・間断かんがいの実施。 開花終了後は“間断かんがい”を実施。落水後の入・排水と収穫作業円滑化のため、“溝切り”を実施しましょう。 ・登熟後半の土壌水分の維持！ 落水の目安は出穂後25日目頃(穂かがみ期)とされますが、落水後は天候や土壌の状況に応じて適宜“走り水”を！ (土壌水分が不足すると、枯上りが早まり倒伏につながります) ・育苗床土の培養 苗床(置床)や箱土は、矯正期間を見越して早めに土壌診断を実施し、酸度矯正や培養に努めましょう。	畑作	小豆(遅4日) ・病害虫の防除 病害の発生や今後の天候に十分注意し、防除を行いましょう。 ・マメアブラムシに注意！ マメアブラムシは、黒色で集団寄生するのが特徴です。ほ場をよく観察し、早期の防除に努めましょう。 ・病害の防除(灰色かび病・菌核病) 今後茎葉が繁茂し、病害の発生・蔓延の恐れがあります。病害の発生状況を確認し、早期防除を実施しましょう。 てんさい(早4日) ・病害虫の発生に合わせた防除 ほ場をよく観察し、病害虫の発生状況に注意しましょう。褐斑病の発生に注意し早期の防除を心がけましょう。ヨトウムシは若齢幼虫のうちに早めの防除を、ハダニは発生を確認したら、すみやかに防除を行いましょう。 ・育苗土の準備 病害虫が発生する恐れのない腐植に富む土を準備しましょう。 pH矯正目標は6.0～6.5です。土壌pHを測定し、必要に応じて石灰質資材で矯正しましょう。
	秋まき小麦 ・9月は次年度のは種が始まります (は種前に土壌診断を行い、土壌pHを確認し極端に低いほ場は、炭カルなど石灰質資材で矯正しましょう。生育期間中に低pHによる障害が出てしまうと、対処の方法がなく施肥効果が半減します。) ・は種機の調節を行いましょう！！ 「きたほなみ」は茎数が増加しやすく、適期・適量は種が重要です。は種作業の前に、は種機のは種量調節のダイヤルを調節して、適量は種を行いましょう！！ 露地ばれいしょ(早9日) ・茎葉処理について デシカン乳剤の使用法、使用基準を守りましょう。土壌が極端に乾燥しているときは避け、朝露の無い時間帯に、茎葉にムラなく散布しましょう。 ・収穫作業について キズや打撲といった機械作業による規格外の発生が増えています。収穫前に収穫機械の調節・整備、特に緩衝材部分の調整を行いましょう。また、収穫時にコンベヤの回転速度・堀取り刃の深さを調節しましょう。 茎葉処理後10日以降、ほ場が乾いた晴天の日に収穫作業を行いましょう。寒い日に行くと打撲が多くなります。収穫後のいもは、風通しの良い光の当たらない場所に置きましょう。JAで行う収量調査結果を参考にして作業を進めてください。 早出しばれいしょ(早9日) ・収穫作業について 皮剥けを防止するため丁寧に収穫し、品質の良いいもを出荷に努めましょう。 大豆(±0日) ・品種に合わせた病害虫防除 黄大豆では紫斑病が黒大豆ではべと病が子実病斑を形成し問題となります。べと病は、風通しが悪いと発生しやすくなります。生育と発生状況を観察し、適期防除に努めましょう。 ・マメシロイガ 早めの防除を！ 近年全道的に発生が増え、被害が増えています。大豆連作ほ場や昨年の大豆作付ほ場に近しいほ場では特に注意し、早期にローテーション防除を実施しましょう。		牧草(遅1日) 飼料用とうもろこし(遅1日) ・夏場の飼料管理 生乳のMCNが適正な範囲(バルク:10～14mg/dl 個体:8～16mg/dl)になれば、飼料中のエネルギーと蛋白質のバランスがくずれないためチェックしましょう。また食いつ込みが全体的に落ちていないか観察しましょう。 放牧草の8月以降の再生量は、大きく下がります。放牧草の栄養確保のため、面積を広げたり、乾草などを併給しましょう。 ・2番草の刈取り 刈り遅れは、ギンギンの繁殖を助長します。 チモシー・主体草地の刈取り適期は、1番草刈取り後50～55日ですが、マメ科率が15%以上で1番草を早刈りしたほ場や、中・晩生種主体のほ場は55～60日程度の生育期間を確保しましょう。 また、オー・チャー・ドグラス主体草地は40～45日を目標に刈取りを進めましょう。 ・衛生管理の徹底 残暑と湿度の高い状況が続きます。家畜の栄養補給に努め、「病気を持ち込まない、持ち出さない、広めない」ことを徹底しましょう。外部の人が入れるエリアを制限し、家畜のエリアは乾燥と衛生的な状態を維持しましょう。 ・草地の追肥 オー・チャー・ドは8月下旬に新芽の発生や分けつをおこないます。収量性向上のために、この時期に適正な追肥しましょう。
畑作		園芸	フロッキー 花蕾腐敗病の発生に注意が必要です。 銅剤(「コサイド3000」等)は高温時の散布で葉害・葉斑を生じる場合がありますので、夕方などの気温の下がる時間帯に散布しましょう。 だいこん・こかぶ コナガ及びアオムシ等の発生が多い時期になっています。系統の違いによるローテーション防除を行いましょう。 にんじん 黒葉枯病は、生育最盛期から後半に発生が多くなる病害です。 気温が高く、晴天と雨天が繰り返されると多発します。収穫までの日数を考慮し計画的に防除を行いましょう。 軟白長ネギ 8月はネギアザミウマ(スリップス類)の発生最盛期です。今年はやや多発傾向と予想されています。 ハウス周辺の雑草から進入し、成虫および幼虫ともネギの葉上で食害します。ハウス周辺の雑草を処理するとともに発生に注意して適切な防除を行いましょう。

檜山農業改良普及センター檜山北部支所

TEL 0137-84-5514/FAX0137-84-5596/E-mail hiho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp

URL <http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

ホクレン i Z A カード

新規入会キャンペーン!!!



特典

期間中、ホクレンイザカード入会で **なんと!**
店頭のガソリン・軽油が **5円/L** キャッシュバック!

3か月間

150L/月まで

- キャンペーン期間：平成27年8-9月末日[※]
- キャンペーン対象：期間中入会（カード発行）の方[※]
- キャンペーン適用：入会月の翌月から3か月間の店頭給油[※]

例えば

7月に入会（カード発行）

8月にガソリン120L給油

9月末に届く明細書で『120L×5円=600円』キャッシュバック!!
(引落しは10月10日になります)



※キャンペーン対象はカードの申し込み日ではなく、カード入会日（発行日）となります。
※カード発行には概ね2-3週間程度かかります。
そのため、7月中に申込された場合もキャンペーン対象となる場合がございます。
※適用油種はホクレンSS店頭で給油したガソリン・軽油で合計150L/月を上限とします。
※各種条件等によりカードが発行されない場合がありますので、予めご了承ください。

ホクレン i Z A (イザ) カードは

『初年度は年会費が無料』
『2年目以降も年間120,000円利用で年会費(1350円)無料』
『初年度は灯油が1円/L引き』
『使えば使うほどホクレンSSでのガソリン・軽油・灯油が安くなる』
など、特典いっぱいのクレジットカードです。

こんなに得するiZa(イザ)カード!

ハイオク	最大 30円/LのOFF!
レギュラー	最大 30円/LのOFF!
軽油	最大 15円/LのOFF!
灯油	最大 9円/LのOFF!

お申込みはホクレンSSまで

ホクレンSS 
サマーフェア2015

店頭給油(ガソリン・軽油)で **ホクレンSSオリジナル** **北海道地図&ガイド** **プレゼント!**

対象期間
7/15(水) ▶ 8/31(月)



表紙は選べる
3種類!

品切れの際は選べない場合があります。予めご了承ください。

期間中の店頭給油(ガソリン・軽油)

50ℓ分のレシートで必ずもらえる!

「北海道 地図&ガイド」は十分にご用意しておりますが、品切れになる場合もございますので、ご了承ください。

※50ℓ分を越えた端数分については、繰越はできません。※店舗によって土・日・祝日休業の場合もございます。※一部実施していない店舗もございます。

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

第2弾

9/1(火) ▶ 9/30(水)

期間中の店頭給油(ガソリン・軽油)20ℓ分のレシートで
ホクレンSSオリジナルワンピースプレミアムグッズなどが抽選で当たる!!

観光や道の案内も! 特産物や旬の情報も! お気軽に**ホクレンSS**へ!!



チャリティ 募金にご協力をお願いいたします

こどもはみんな、
みんなのこども。

ラブ&ハート  キャンペーン

7月15日(水) ▶ 9月30日(水)